



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 町成人式……………2～5
- 交通安全町民大会……………6
- 町制10周年等記念式典……………7
- 第7回臨時議会……………8



広報

交通事故死亡「0」1,500日達成

交通事故死亡「0」の継続日数がついに1,500日を記録しました。交通事故は悲惨で、私たちの生活まで脅かす恐しいものです。この記録をもっと延ばし、この機会にもう一度自らの交通安全について確かめ、事故に会わない、起こさないよう万全の注意を図りましょう。

(関連記事 6面)

9月

いわきしらわ

No.354

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

はたち

記念講演

昔日か

講師

福井



20歳のちかい

「成人」。私たちはこの日の来るのをどれだけ待ちこがれたことでしょう。いや、早いものだな、と思う人もあるかもしません。それは私たちが「成人」という言葉に憧れを抱いたり、逆にちょっと不安だったり、それぞれの気持があるからでしょう。しかし、本日から成人者としての新しい人生が始まったのです。

それは、今日から私たち一人一人が、1人の大人として社会から認められたことです。法律上の責任と義務を、1人の人間として果していかなければならぬのです。

私たちが生まれた当時に目を向けて見ますと、テレビの宇宙中継が普及し、私たちの郷土にもテレビが普及するなど、町も大きく変った時期でもありました。農業の1コマの稻作にスポットを当ててみても、副業を持つ兼業農家が多くなりました。かといって米作りが減少した訳ではありません。農業機械の発達により、早くたくさんのお米ができるようになりました。反面、外国米輸入問題、依然として続いている生産調整など、悩みもいろいろです。

本町では出羽丘陵開発等で、單一稻作から畜産複合への経営転換をはかる努力などもしております。また、農業後継者問題に対し、農村青年交流会や交歓会などで近隣町村と交流し、仲間つくりや情報交換なども企画されています。

過疎対策にも真剣にとりくまれ、大規模な一流会社が誘致され、私たちの未来への展望を大きく広げてくれました。

私たち青年は、意欲的にこれらに取り組み、将来へ向って進んで行きたいました。

とびだせ



たいと思います。

今日、8月15日は、私たちにとうて一生涯忘ることのできない成人式の日であると同時に、人間同志の憎しみ合いの中で、多くの血を流し、はかり知れない大きな犠牲を払った私たちの知らない戦争が終結した日でもあります。平和な社会で育つてきた私たちにとって、この事実を目のあたりにすることも、どんな事情があつたかを知ることもできませんでした。けれども、終戦記念日に行われた成人式で、戦争の犠牲になられた人々のご冥福と永遠の平和を祈りました

いと思います。

今日私たちは親鳥のツバサのもとから巣立ちます。精一杯、ありつけの力ではばたきます。親鳥のツバサの外は、甘えの許されない厳しいものでしよう。今、第2の人生の出发点に立つて、大地に足をしつかり立てて、くじけることなく歩んでいくことを、もう一度自分に言い聞かせていました。まだまだ未熟な私たちの前途には、厚い壁が幾多も待ち受けていることでしょう。最も世の中が繁栄していた時期に幼・少年期を送ってきた私たちは、これまでの世代にはない豊かな生活の中で育つてきました。その恵まれた生活に負けないよう努力し、これから社会に貢献したいと思います。

(これは「成人式」での「誓いのことば」を抜粋したものです)

成人式会場 インタビュー

は・ち・き・れ・んばかりに若々しい20歳の青年たちが、成人式会場で久々に合う友だちと話を交わして

いた中、「20歳になつて一言」とインタビューしてみました。



小松 綾子さん

会社員・新町出身・東京都
いまでも故郷の夢を見たりしますけど、そんな時急に帰りたくなつたりしますね。でもこれからは大人。そんなこと思われませんね。



遠藤 雅晴さん

会社員・野田出身・神奈川県
20歳、それは人生におけるチエックポイントだと思います。これからは、自分の存在を主張しながら生きてゆきたいと思っています。

「21世紀は私たちが 主人公」 町成人式 105人が おとなの仲間入り



友だちと合うのも久しぶり

力強くのべる誓いのことば

町内めぐりで湯出野遺跡も見学

終戦記念日の8月15日、町成人式が今年も有鄰館で行われました。対象者は、昭和38年4月2日から昭和39年4月1日の間に生まれた人たち105人で、当日は81人が出席、手を握り、肩を抱き合うなど数年ぶりの再会を喜びながら20歳の門出を祝いました。

式典では、新成人1人ひとりが

点呼で紹介されたあと、町長から

代表の小野浩君（高屋）に「正義

と真理を愛し、自他の敬愛と協力

によって洋々とした未来社会の創

造者となつてください」と書かれた

成人証書が、また古関英幸君（松柴）と安倍悦子さん（家の下）に

記念品が贈られました。

続いて式辞に立った畠山町長は

「これから1日1日を大切にし、常に将来に大いなる夢と希望をいだきながら、知性を磨き身体を鍛練して最後までやり遂げる逞しさを持続けて欲しい」と激励。さらに長谷山町議会議長からお祝いのことばが述べられました。

これに答え、新成人者を代表して阿部寿夫君（大琴）が「やがて迎える21世紀は私たちが主人公です。このことをはつきりと自覚し、決意を新たにし広く世界に目を向け、新しい時代にふさわしい生き方を求める、最善の努力をする覚悟でおります」と力強く誓いのことばを述べました。

式典のあとは、本町老方出身で、現在福井県埋蔵文化財調査センターソ長兼朝倉氏遺跡資料館長の藤原武二氏が、「昔日からの問い合わせ」と題し講演。古代の世界にひたすらロマンを追い求めて来た氏の実証的研究を通した人生観について、まだうら若い新成人に語りかけました。

このあと記念撮影と昼食を済ませ、町で準備したマイクロバスで町内めぐり。湯出野遺跡や、誘致企業の秋田信英など数か所を見学し、説明に耳を傾けながら変りゆく町の姿に目を見張つていました。

事務員・新處出身・秋田市
今まで、未成年ということでおいろいろとめんどうみてもらつた人たちに、これから少しずつ恩を返していくかな:と思つてます。

工藤 優恵さん

友人がみんななりっぱになつてゐるのでびっくりしました。ぼくもみんなに負けないよう、努力しようと思つています。

横山 力さん

自営・向田

友人がみんななりっぱになつてゐるのでびっくりしました。ぼくもみんなに負けないよう、努力しようと思つています。



高橋 順子さん

会社員・新田出身・東京都
都会では、いろんな人が生活しています。その中にただ流れているだけではなく、自分の流れを決めて生きていくこうと思つています。

会社員・小野 郁子さん
会社員・藏新田出身・秋田市
成人式に来たら急に大人になつたような気がします。けど、あまり気張らないで、これからもマイペースでやつていきたいですね。



会社員・奥ケ沢（象潟町勤務）
一度会社をやめようと思ったこともあります。でも友人や先輩に励まされ、やめずに済みました。これからは弱音を吐かず何事も最後までやり通したいと思っています。



長谷山千鶴子さん
会社員・湯出野出身・群馬県
20歳というすてきな時を健康で迎えさせてくれた両親に感謝しています。これからは親に甘えられない……そんな気がしています。



成人になつて思うこと

小松 達也（大琴・公務員）

ニオイを過ぎると選挙権が与えられる。選挙演説などは自由と責任の典型的な好例である。

言論の自由で恩をうけるままにすまつは簡単であるが、残念なことに對して責任を負うといふことは大変難いことである。

自由と責任、このどちらも大切なことであるが、二つの面者をあえて比べるならば、後者の責任の方が、とりつき易いものと考えてよい。それは逆に「自由」と「うちのには範囲が不明りようであり、ソラムーう無限なものがあるからである。

成人に達した機会に自由・責任という二つについて、あらためて考えるに同時に「自己における責任の覚える範囲」の自由」というものを一つかりと把握しておくべきだと考へておる。



東由利町役場建設課勤務

「はたちになつて」

佐藤 千枝子（寺田・会社員）



仁賀保町の秋田八木電子勤務

ニオイコール成人とうわけですが、働き始めて三年目の私は実感がめがなのです。何故なら高校を卒業して、や卒業式前からすでにニオイになってしまったような気がして、だからなのです。男は、カリのどの職場にはつんヒナオになりたての私は一人で、ソラモドモ学生気分ではりられませんでいた。仕事を覚えること、職場慣れる二つ、自動車販売というお客様相手の仕事でしたので特に気をつかって、また入社して二、三ヶ月でまるで二年も勤めてるようだといわれて、なんとなく「ニオイなんてどうに過ぎてしまったような気がして、たつてです。

現在は前の仕事と正反対ともいえるところで働いてみた、あらたのニオイという実感がわくのです。軒の天井が重くてまだ四ヶ月しかなりません。まだ片道一時間の距離にも多少の疲れも感ずることがあります。

自分で選択した道ですから買けてありません。天取一からニオイというキー歩から、また歩き出せば、一歩ですぐニオイからこそ青春はこれからであり生涯のよさ人も伴侶も現われるでしょう。



事務員・高屋出身・東京都
20歳……まだ実感が湧かないんですけど、でもこれからは自分の行動に責任をもたなければ……と思っています。



藤原 正一さん
会社員・下小路
来月から地元で新しい仕事につきます。これまでの都会の生活をふまえ、これからがぼくの社会人としてのスタートです。頑張ります。



農業・中通
これからは酒やタバコが公認されることで肩の荷がおりたような気がします。でもその分だけ別の荷物を背負うんでしょうけど。

交通事故死亡

めざせ「0」2000日

交通安全町民大会開催



交通事故防止に新たな誓いを見せた町民大会（東中体育館）

町では、交通事故死亡「0」の継続日数が1,500日達成にはなつたものの、依然として絶えない交通事故を未然に防止するため、今大会を期に5つの重点目標を設定。目標の達成に向け、町民ぐるみの実践活動を展開していくことにしています。町民のみなさんのご協力をお願いします。

町民ぐるみで 事故防止を

東由利町交通安全5大重点目標

- | | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|----------|-------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 老人と子供を交通事故から守ろう | シートベルト着用の強化 | スピード抑制（交通ルール厳守） | 飲酒運転徹底追放 | 交通事故死亡「0」2,000日達成 |

当日は大会に先立ち、町役場から東由利中学校までの約1・5kmの道のりを、高瀬小学校鼓笛隊を先頭に約500人の町民がパレードを行いました。

大会では、はじめに本荘警察署小野賢午署長から本町に感謝状が贈られたあと、町交通安全対策協議会畠山亮一郎会長から、交通安全運動に尽力した町内の個人や団体、また交通安全作文や標語などの優秀作品者に表彰状が贈られました。

このあと畠山会長が「町民の地道な努力によって死亡事故ゼロ、1,500日を迎えることができた。

由利福祉事務所長ら4人の祝辞につづいて行われた、交通安全作文優秀作の発表では、自らが交通事故に遭ったときの恐怖や、交通事故を目撲したときのようすなどを生々しく描写され、大会参加者が耳を奪っていました。

大会の最後は、町交通安全協会長谷山光会長が、3項目からなる「大会宣言」を読み上げ、交通事故防止に新たな決意で立ち向うことを誓いました。

「あぶないっ。
「キキーツ」赤色と茶色の車が私の目の前を急ブレーキをかけながら横切りました。

「私は、目をつむり、頭をかかえてしました。私が両親といつしょに本荘に遊びに行く途中での出来事です。本荘の入り口の歩道橋の下の交差点で、私たちの乗つた車が信号待ちをしていると、両側から走つて来た車がぶつかつたのでした。

しばらくは顔をあげられませんでした。がおそるおそる顔をあげて見てみると、2台の車がぶつかっていました。どちらの車からもか

いふうに、交通ルールをよく守つて、東由利町を交通事故ゼロの町にしたいと思います。

高瀬小6年 由美さん



本町の交通事故死亡「0」の継続日数が、7月24日で1,500日を記録。町ではこれを記念して、先月7日、東由利中学校体育館を会場に、交通安全町民大会を開催しました。

交通安全作文 優秀作品

すかにけむりが出ているようでした。運転の人は、ひたいから血を流していたようです。ガラスなどが飛び散っていたので、たぶんガラスのかけらがつきさつたのでしょう。私は気持ちが悪くなつて見ていられませんでした。もしかしたら手や足にもけがをしていましたかもしれません。

私たちは、そのあと本荘でいろいろ遊びましたが、遊んでいてもあの事故の様子が頭に浮かんでちつとも楽しくありませんでした。

あんなむごたらしい事故は、もう2度と見たくありません。聞いたところでは、あの2台の車は、どちらもスピード違反をしていたのだそうです。だれひとりも、あんな血まみれのひどい姿にならぬよう、交通ルールをよく守つて、東由利町を交通事故ゼロの町にしたいと思います。

八塩小学校 2年 阿部誠普 交通安全標語 優秀作品

2度と見たくない交通事故

死亡事故 ゼロがじまんの ぼくの町

町民憲章制定

町では、今年で町制が施行されて10周年、町村合併が実施されてから30年目を迎えたことを機に「町民憲章」を制定しました。

この「町民憲章」は、私たち東由利町民が町政に参加しながら、お互いの連帯感を深めるための「道しるべ」として制定したものです。これからは、この「町民憲章」を明るく住みよい町づくりのための、町民みんなの合言葉として、その実践に取り組んでいきましょう。

東由利町町民憲章

わたくしたちは恵まれた自然と伝統豊かな東由利町民であることに誇りをもうるおいと活力あふれる郷土をつくるためこの憲章を定めます

一人をいたわり 真心のぶれあう町をつくります
一自然を愛し 環境の美しい町をつくります
一教育を深め 文化の香り高い町をつくります
一身体をきたえ 健康で明るい町をつくります
一仕事に励み 産業の伸びゆく町をつくります

昭和五十九年九月一日 制定

しま、新たな飛躍の年にむかえて

新しい町づくりの出発の年

町制施行10周年等記念式を挙行

町制施行10周年、下郷、玉米両村合併30年を記念し、また水道拡張整備事業の完成を祝する「町制施行10周年・合併30年・水道拡張整備事業完成記念式典」が9月1日、東由利中学校体育館を会場に行われました。

当日は、国、県会議員をはじめ

町外からの来賓80人余りを含む、400人が出席、

新町発足以来10年の歩みを振り返りながら、今後の新たな前進を祈念し合いました。



長のあいさつのあと、町発足以来町発展にご尽力された前町長小松栄男氏、元議会議長沢毅氏、同(故)小野昭一氏、前議会議長小松豊氏、前農業委員会長遠藤孫助氏、前農協組合長小松慎一氏、前商工会长佐藤要次氏と、水道拡張整備事業の施行業者や、用地提供者に

対して町長から感謝状が贈られました。

引き続き行われた祝賀会では、地元民俗芸能の1つでもあり、古い伝統をもつ、舟打場の獅子舞と、本町出身民謡歌手、浅野和子さんを含む「梅若会」の一一行がそれぞれ熱演、会を盛り上げました。

このあと町発足10周年を機に制定された「町民憲章」を発表、つづいて来賓から祝辞をいただいたあと、式を閉じました。

「町勢要覧」などを作成、配布

この記念すべき年にあたり町では、「町民憲章」の制定のほか、町の概要を紹介する「町勢要覧」、30年の歴史を写真と年表で記録した「30年のあゆみ」を刊行、全戸に配布することにしています。

また、こうした本町のようすを、広く県民の方々にも知つていただき、去る8月31日には県内全域に30分の間ブラウン管を通して「東由利町」が紹介されました。

なお町では、この番組を将来の貴重な資料とするためビデオテープで保存しており、希望者には貸し出しも行います。窓口は役場総務課となっています。

第7回臨時議会



助役の辞令交付を受ける畠山良一氏

助役に 畠山良一氏選任

助役の選任と、補正予算及び財産取得の審議を中心とした町議会第7回臨時議会は、8月2日に行われ、全案件を原案どおり同意、可決して閉会しました。

助役の選任について

昨年の8月から欠員となつてゐた助役に、畠山良一氏（58歳・館合字前田19番地の1）が、全会一致の同意を得選任された。

補正予算について

町一般会計歳入歳出予算の総額にそれぞれ68万8千円を追加し、同予算総額を21億3百24万2千円とした。

補正した歳出予算の主な内訳は、

▼町制10周年記念番組の制作委託料（ABC秋田放送制作）70万円
▼本荘高校下郷分校振興会補助金30万円

▼小、中学校派遣費補助金67万9千円

このほか、町老人保健医療事業特別会計の歳入歳出予算総額に、1千2百55万7千円を追加、総額が2億3千6百73万4千円となつた。

これは、前年度に交付を受けた社会保険支払基金や国庫、県費の精算に充てるもの。

“ネコの目 農政”の 不信に思う

連日の猛暑。記録的な真夏日の連日。水不足によつて、畠作は深刻な被害が出はじめたものの、稻作は、豊作を予想される作況で、農家は久しぶりに明るさをとりもどしている。

そのような中、今年も“ネコの目農政”に農家の不信が一層増してきている。

転作青刈稲の、他用途米への契約変更届出が、今日（8月20日）で締切られる。それなのに、これを知らずに、既に青刈りに入った

農家もあることが、写真付で大きく報道されている。

この青刈稲の他用途米への移行は、他用途米の主食転用に伴う加工米不足を補うための、緊急措置だといわれる。しかしこの契約変更期間が短かいため、農家への浸透はいま一つの感である。

水田利用再編第3期対策初年度に表われた米の需給ひつ迫、韓国米の輸入、他用途米の主食転用、そして青刈稲の他用途米への変更——この“ネコの目農政”に振り回わされる農家は、單なる戸惑いというよりも、大きな農政への不信へとつながっている。

青刈稲は、水稻の出穗後間もなく刈取りし、飼料用にする転作作物。他の転作作物に比べて、水稻をそのまま活用でき、しかも機械化体系の中でも取り組めるのが特徴。



町長の談話室

畠山亮二郎

町出羽丘陵開発

推進協議会が設立

出羽丘陵開発事業を円滑に進めようとして、このほど町出羽丘陵開発推進協議会が設立しました。

同協議会は議会議員、農業委員、農協理事、受益者代表など18人で構成、8月8日有鄰館で第1回目の会議が行われました。

会議では、町から同事業の58年度実績や、今後の計画について説明のあと、受益者の負担金や機械の導入等について質問。協議では、營農指導の充実、徹底を図るとともに、機械、施設の導入にあたつては過剰投資とならないよう進めいくことを話し合いました。

当然歓迎できる理由なのに、県が市町村に指示したのが、なんと出穂期に入つた8月中旬。「もう少し早めに政策を徹底させてくれれば——」といふ農政への不満の声が出るのはあたりまえである。

もつと農家と呼吸を合わせた農政を強く要望したい。

○：「行政で大切なのは、信頼と忠実。長の補佐役として、住民と行政の連帯感を一層深めるために、このことをモットーにやつて行きたい。」

畠山助役の横顔

豊富な行政才ヤリア

て産業振興関係事務に従事し活躍されました。

昨年3月停年退職後

▼けい流釣りでは、名人級の腕前。

町森林組合の参事となられ、これまでの手腕

道路工事発注情報

(8月20日まで発注分)

▶ 国道107号
側溝整備

- 施工場所 舟木、森ノ越
- 工事期間 7月~10月
- 契約金額 2,060千円
- 施工業者 佐々木組

▶ 仁賀保・矢島
館合線
側溝整備

- 施工場所 下小路、須郷田
- 工事期間 7月~10月
- 契約金額 1,790千円
- 施工業者 村上建設

▶ 楢渕横渡線
側溝整備

- 施工場所 横渡
- 工事期間 7月~11月
- 契約金額 15,130千円
- 施工業者 堀内建設

▶ 西山線
蔵跨道橋
新設工事

- 施工場所 蔵
- 工事期間 7月~10月
- 契約金額 12,400千円
- 施工業者 株式会社大沼組

▶ 楢渕横渡線
舗装

- 施工場所 黒沢
- 工事期間 7月~10月
- 契約金額 19,800千円
- 施工業者 村岡建設株

▶ 高村線
防埃舗装

- 施工場所 小倉
- 工事期間 8月~9月
- 契約金額 400千円
- 施工業者 日本舗道株

▶ 仲ノ沢線
舗装

- 施工場所 跡見坂
- 工事期間 8月~9月
- 契約金額 1,880千円
- 施工業者 株式会社大沼組

制度がないため、期限切れをチェックする方法がないので、つい忘れてしまいかがちです。自賠責保険（共済）の有効期限を示したシールが、ナンバープレートの隅に張

バイクをお持ちの皆さん、自賠責保険や自賠責共済の期限は、切れていませんか。

バイクの自賠責保険（共済）

有効期限は過ぎていませんか

農業協同組合にお問い合わせ下さい。
代理店（バイク店、自転車店等）、
詳しくは、損害保険会社かその

つてあるはずです。さつそく見てください。
小さいバイクだからといって、事故が小さいとは限りません。いざというときのためにも、自賠責保険（共済）に入加入しましょう。

平和への誓い新たに

町戦没者追悼式

日露戦争から太平洋戦争終結までの間に、尊い犠牲となつた町戦没者312柱の英靈を偲び、平和への新たな誓いを決意する町戦没者追悼式が、8月21日、有鄰館を会場に行われました。

追悼式には遺族や来賓など約20人が参列、白菊と黄菊で飾られた「戦没者追悼標」を前に町長から式辞が、来賓から追悼のことばが述べられました。

また、戦没者遺児を代表して小松エミ子さんが

父亡き後、母の手厚い慈愛を受け幸福な生活を送っていることを靈前に報告、「これからも幸せな家庭を守り、母が1日も多く長生きできるよう努力していく。多くの母たちの不運な体験を2度と繰り返すことのないよう永遠の平和を念じて御たまのご冥福をお祈ります」と追悼のことば

追悼の標に参列者1人ひとりが献花、還ることのない肉親へ想いをしのせながら、諸英靈の安らかな眠りを祈り、平和への誓いも新たに、式典を終えました。

を捧げ、夫や子どもを悲惨な戦争で亡くした遺族の新たな涙をさいました。

このあと生花で飾られた帽上の花、還ることのない肉親へ想いをしのせながら、諸英靈の安らかな眠りを祈り、平和への誓いも新たに、式典を終えました。



ねんきんつうしん

20歳でスタート 国民年金

国民年金とは

農業や商業・サービス業などの自営業とその家族のための制度で、20歳から59歳までの人は、必ず加入することになっています。なお、サラリーマンの奥さんや昼間部の大学生などは、希望によって加入できることになっています。

国民年金の年金給付は

国民年金の給付には年をとったときの老齢年金・通算老齢年金、不慮

の事故などにあって障害者となったときの障害年金、一家の働き手が亡くなったときの母子年金や他に寡婦年金・遺児年金・準母子年金などがあります。

保険料は

保険料は月額6,220円です。さらにより多くの年金を受けたい人には、別に400円の付加保険料を納めることもできます。

また、生活が苦しいなどの理由で保険料が納められない場合には、保険料の免除制度もあります。

加入手続きは

・ 国民年金の手続きは自分自身でやることになります。

20歳になった方、20歳を過ぎてまだ何の年金にも加入していない方は、いますぐ印鑑を持参して、市町村役場の年金係に加入手続きをしてください。

まちの話題

野球狂が3年ぶり 4度目の優勝

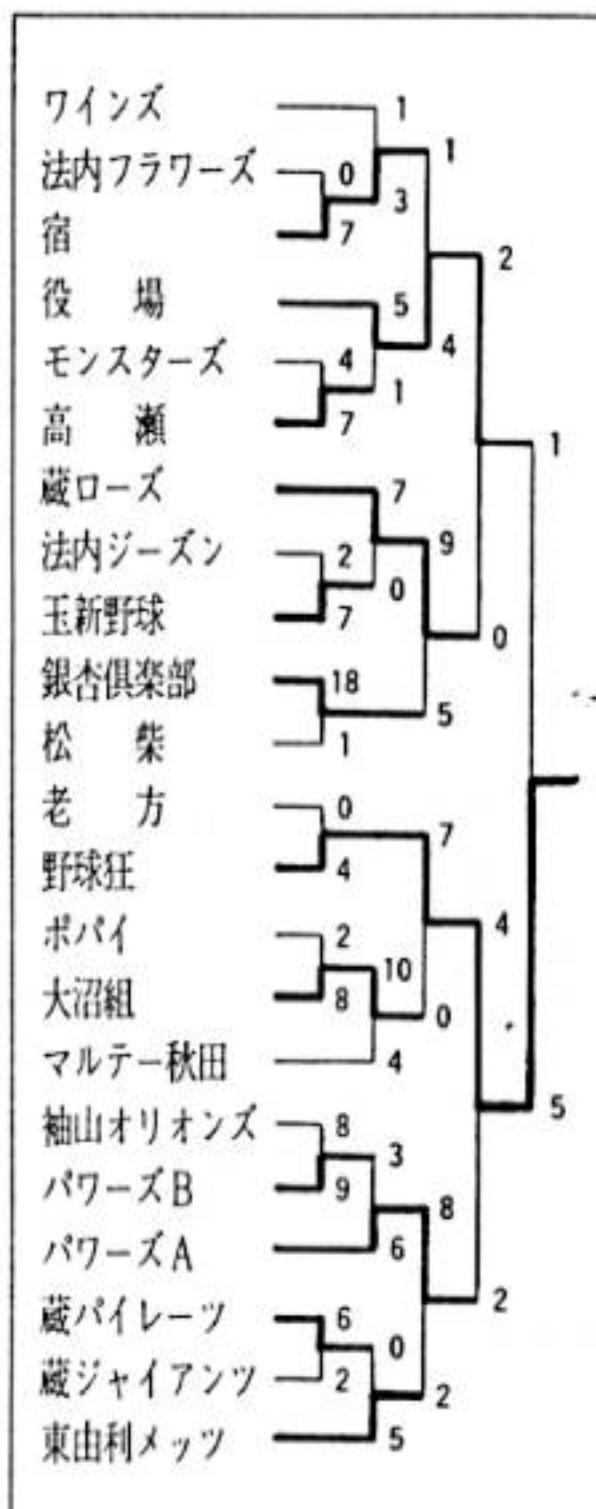
町社会人
野球大会



3年ぶりに優勝旗を手にする野球狂チーム

町野球協会（長沼久男会長） 催の第26回社会人野球大会は、8月16日から3日間、町民、台山の両グラウンドで行われ、22チームが出場。連日にわたる熱戦の結果野球狂と前回優勝の役場が決勝へ進出。試合では野球狂の打線が役場を上回り、6回の裏までに5点を先取。最終回役場のねばり強い反撃も1点にとどまり、結局5対1で野球狂が3年ぶり4度目の優勝を飾りました。今大会の最高殊勲選手は、小野昭美（野球狂）、敢闘選手は、小松徳重（野球狂）

阿曾文彦（役場）



新鮮な野菜を安く地元の皆さんに食べてもらおうと、町農業近代化ゼミナール（畠山忠志会長）の会員たちがお盆前の8月11日、矢島信用金庫前空き地に「青空市場」を開設。自分たちでつくったスイカ、トウモロコシ、枝豆などのほか、町生活改善実行グループ（加藤キヌ子代表）の出陳協力で、カボチャ、キヤベツ、ニンジンなどを即売しました。

この「青空市場」は昭和56年から始められたものの、会員の即売技術は十分でなく、値段のつけ方に四苦八苦しながら値段をお客さんにつけてもらうといつた光景もしばしば見られました。店じまいした会員らは「前回の反省点を生かし一般野菜を少なくしたことで品物が円滑にさばけたし、增收にもつながった」と成功を喜んでいました。

スイカの買いだめ……？



農近ゼミ
の
青空市場

女くて新鮮な
野菜はいかが

す。その人の生まれつきの素質や過ごした環境、生活、受けたストレスや病気の有無等も老年期にかかわりをもちますので、個人差がきわめて大きく各人各様です。

そこで、体が衰えないために、くらしの中で……：

- ・生活のリズムをみださない

- ・何ごともマイペースで

- ・体をこまめに使う

- ・頭をつかって（読む、書く、考える）、気をつかわない

- ・家庭の中で役割を持つ

- ・社会活動に参加したり、趣味を持つ……ことを

- 心がけ、また、心と体の健康を保つためにおこらない、いばらない、くさらない、まけない、あせらないことが大切です。

このことを実行し、健

康で愛されるおとしよりになつて、老木を枯らさぬよう手入れや養生しま

しょう。

また、風雪にも耐え抜く自己鍛錬を怠らず、見

る人を楽しませる美しい

樹に育ち、そして美しい年輪を

持つた樹となつて美しい年輪を

花開き、実を結び、やがて老木となります。

人間の一生も全く同じですが、刻々と変化していく老衰（老化）の度合も、人それぞれの幼少年、青年、壮年と折々の過ごし方に影響されることは当然といえま

古いの樹に美しい年輪を

家庭奉仕員
高橋しげ子





万引——見なれぬものを持っている

子供が、ふだん見なれないものを持っていたら「あら、いいもの持っているわね。どうしたの?」と聞いてください。いつ、どこで、だれに「もらったのか」「借りたのか」それとも「拾ったのか」を確かめることは親としての当然の義務ではないでしょうか。「自分を信用しないのか」とわが子が不満な顔をするかもしれません、いい意味での監督の目は必要なのです。

「もらったり借りたりしたのなら、お母さんからもお礼を言わなくてはいけないし、拾ったのなら届けなければならないでしょう」と、子供の目を見ながら尋ねれば、言っていることが本当かどうか母親の直感で見分けられるはずです。

■ 幼児期のしつけが善悪の区別をつけさせる —

子供が万引をする原因は、さまざまです。例えば、万引した品物を、何日かしてから、また元の所へ返しに行く——これなどはゲーム感覚とでもいうのでしょうか。そのほか、興味本位(好奇心)、仲間がやるから、スリルを求めて、むしゃくしゃするからという欲求不満解消型など、万引の心理はいろいろです。

一方、万引で補導された子供たちに共通して言えるのは、その多くが罪の意識がほとんどないということです。

「店の人見つかったのは運が悪かったんだ。もっともオレの盗み方もうまくなかったが、まあ仕方がないとあきらめている。けど仲間にドジって言われる頭にくるな」

これは、ある補導例ですが、遊び心はあっても万引が悪いという気持ちは少しもないようです。どうして子供たちに罪の意識がないのでしょうか。これは、幼児期や児童期にさかのぼって考えなければなりません。これらの時期にいろいろな遊びを通じて、していいことと悪いことの区別を知り、してはいけないことをするのは許されないというしつけを十分に受けたかどうかが問題です。

この善悪の区別が十分に分かっていないと、思春期を迎えても頭は幼児のままで、子供のころと同じ遊びをしてしまいます。そこには、失敗後も罪の意識は生まれません。

■ 事の重大さを分からせる —

万引をしたと分かったときは、お母さんは、いかにその事を重大に受けとめているかを子供に感じさせてください。事なかれ主義でウヤムヤにしてしまったり、世間体がよくないからと注意するだけで済ましてしまうのが最も危険な解決方法です。大事なことは、万引がいかに悪いことであるかを分からせ、二度と同じ誤ちを犯さないようにすることです。

一つの事後解決法としては、つらいことですが、盗んだ品物を持って、親子2人で返しに行き、謝罪する、言うならば母も子も“恥”をかくことです。軽い気持ちでいた子供も事の重大さに気づくとともに、親の真剣な態度に圧倒されつつ“おふくろに恥をかかせてしまった”という思いが、深く胸に刻まれるのではないでしょうか。その気持ちが、もう二度とすまいという決意を子供にさせるのです。

そして、以後、この問題には触れないようにしますが、その日から1年目の前日つまり365日目になつたら「あなたは何の日?」と聞いてください。子供は忘れてはまず、「あなたにとって一番つらい日なのよね。思い出したことないから、今日を最後にしますけど……」と、あえてひとこと子供に念を押すのもよいでしょう。

(指導) 賢視庁世田谷少年センター・カウンセラー 岩佐壽夫

まちの話題

東中

2点差で「金賞」のがす

県吹奏楽コンクール中央地区大会

います。来年は是非、金賞をとつてもらいたいですね。

去る8月25日、秋田県民会館で行われた秋田県吹奏楽コンクール中央地区大会の“Cの部”に、東中の吹奏楽部が出場。目ざすは最高の「金賞」でしたが、審査の結果はきびしく、他校に2点差で、惜しくも金の星を手にすることはできませんでした。

“Cの部”には秋田市をはじめ16校が出場。課題曲、自由曲の2曲を演奏し、日頃の練習成果を競いました。

同校では、昭和56年に金賞に輝いて以来、今年で3年連続の銀賞を獲得、県内でも高く評価されて



「金賞」目ざし、一生懸命演奏する東中生

善戦 花輪小に涙のむ

全県の小学校野球に大琴小出場

8月16日から3日間、八橋球場等で行われた全県小学校の野球大会に、郡大会で優勝し出場権を握っていた大琴小が登場。初戦で優勝候補とも言っていた花輪小と対戦、健闘しましたが、花輪小のピッチャーを打ち崩すことができず、結局無得点のまま相手に8点を許し初戦で涙をのみました。



強豪「花輪小」と戦う、大琴小健児

小野さん 2年連続優勝 ふるさと将棋大会

主催の「第3回ふるさと将棋大会」が、8月15日明葉荘を会場に行われました。今年は、小学生3人、中学生1人、一般13人の計17人が参加、このうち小学生1人を含む7人は、お盆で帰省中の人でした。

いざれも「3度の飯より将棋が好き」という人たちで、腕前も相当なもの。対局は、リーグ戦形式で行われ、熱戦の結果、小野裕明さん(宿)が2年連続の優勝を飾ったほか、準優勝は阿部力さん(十^二の前出身・本荘市)、第3位は同会長小野松雄さん(藏新田)でした。

亡くなる人の
4人に1人はガン

9月は「ガン征圧月間」です
検診を受けて早期に発見を!



クライマックスの分館対抗リレー盛況。応援の声もひときわ高い。



第16回

町民運動会

第16回町民運動会が8月26日、台山グラウンドで行われました。この日は好天に恵まれ3千人を越す町民が集合。自治会対抗には40チームが参加、何年ぶりかの豊作といわれる収穫を目前に、楽しくゆかいな1日を過ごしました。自治会対抗今年の成績（総合）は、優勝が蔵自治会、準優勝は茂沢・祝沢自治会、第3位は新町自治会でした。

おなじみの満杯リレー。
回を重ねるごとに手つきもよくなる。自治会対抗種目最後のボール送り。
これで勝てば逆点優勝とあって熱も入る。

優勝までの道のりが険しいつなひき競技。

ちなみに優勝までは5チームと対戦
せねばならぬ……。きびしい――。

民話・その5

いわ な ぎょう じや

大岩魚と行者



その昔、大吹川の流れが清く冷たく岩魚がたくさんいたころ、近くの村びとたちは、朝早くから谷川をのぼり、山のにが木の皮を材料にしてつくった毒を谷川に流して岩魚をとっていました。

谷川にセミの声がひびき、水にぬれた岩の照りかえす陽のひかりもまぶしいある夏のことです。

岩魚とりに来た村びとたちは、毒流しのしたくもできて、車座になり昼めしを食べ始めました。する

と、どこから来たのか白い装束の行者があらわれ、村びとたちに近寄り、「お前さん方は、この谷川に毒流しで岩魚をとりに来た人たちですな。」と青光

りする不気味な目をしながら「…毒を使ってとるのはいけないことです。釣る魚は、餌のために心迷う

た魚だから仕方がないものの、毒を流して罪なきものまで根だらしにするのは、いささかやり過ぎとは思われませんか。魚の命もお前さま方の命も同じ尊いもののはず。毒を使うのは止めるがよい、いや止

めてください…。」とお願いするようになりました。

これを聞いた村人の中から、1人の赤ら顔の男が腰をあげて、「みんな、行者さんのいうとおりじや。毒を流して岩魚をとることは止めようや。行者さんも、まあ昼どきだし、おらたちと一緒に食べてくだされや。」と粟でつくつたんごをすすめました。行者は、差し出されたんごをおいしそうに、ペロリペロリと食べて、「…岩魚とりは止めなさつ

たか…」とうなずきながら静かに去っていきました。

行者が去ったものの村びとたちは、行者の青光りする目の色が薄氣味わるく頭からはなれませんでした。村びとたちは、岩魚とりを止めようとそそくさと帰り仕度を始めました。そのとき、1人の元気のよい若者が、「やあやあ、みんな、朝早くから大なんぎしてここまで来て、今さら仏心をだして止められるが…。」とおこったように川に入り、毒を流し始めました。間もなく、岩魚や小さな魚など苦しそうに水面に浮いてきて面白いようにそれました。先ほどの若い男は、これで終りにしたいが、この上に少し深い渕があるから、そこをとつたら止めようやと、谷川をのぼりました。樹木にかこまれた渕は、水の底が青黒くよどみ、ひんやりとした薄気味悪さです。若い男は例のにが木でつくった毒を流し、煙草をす正在と、これまでに見たことのない大きな岩魚が白い腹を横にして、渕の底からぷかりと浮いてきました。

村びとたちは、「こんな大きな岩魚は生まれて初めて見た。」と腰を抜かさんばかりにおどろき、先ほどどの行者の青光りする目の色のことなど、すっかり忘れてこうふんしていました。その晩は、みんなで大岩魚を酒の魚に酒もりを行うことになりました。若い男は大きな包丁を手にして、「あの行者のいふことを聞いて止めていたら、こんな大きな岩魚をおがむことはできねがつたぞ。」と自慢げに大岩魚の腹をさき、腹ワタを引きずり出しました。するとその腹ワタの中からコロコロと出てきたものがありました。何かなと不思議に思った若者は、顔を近づけて見たとたん、うなり声をあげて、ひっくり返り気を失ってしまいました。

腹ワタの中からころがり出てきたのは、昼めしに行者に分けてやつた粟だんごでした。青光りのする大岩魚の目は、村びとたちをにらみつけていました。みんなは、あまりの恐しさに酒もりも止めそうそうに家に帰りました。その後、村びとは、長い間、岩魚とりを止めてしまったとのことです。

お話しと絵は、石渡力造さんによるものです。

救急医療週間
9/9 ~ 9/16

守ろう大切な生命
考え方
みんなの救急

9月9日は「救急の日」また、この日を含む1週間は「救急医療週間」です。

この期間中には、住民の救急医療及び救急業務に対する正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図るなど、全国的に様々な運動が実施されます。

本荘地区消防事務組合管内の昭和58年における救急出動状況は、搬送人員1810人（内訳：本荘市647人、岩城町70人、大内町147人、東由利町101人、西目町87人、その他3人）であり、年々増加の傾向にあり、急病人が全体の54%と半数以上を占め、次いで交通事故23%、一般負傷11%となっています。中には、救急に該当しないと思われる例もあります。このことから、今後一層、救急車の適正な利用が望まれ、安易な要請を慎むなど、大切な生命を守る救急について考えていただきたいと思います。町民の方々のご協力ををお願いいたします。

各種団体、事業所等における救急処置講習会には、救急隊員が指導協力しますので、東由利分署にご連絡下さい。



私の赤ちゃん ②

小野 好ちゃん (鶴新田)
59・1・4生まれ
泰好さんと政子さんの長男
おつとりしていますが、
人なつこくてだれにでもな
ります。ほんとにめんこいです。(おばあちゃん談)



このじ
小野 好ちゃん (鶴新田)
59・1・4生まれ
泰好さんと政子さんの長男
おつとりしていますが、
人なつこくてだれにでもな
ります。ほんとにめんこいです。(おばあちゃん談)

このじ
小野 好ちゃん (鶴新田)
59・1・4生まれ
泰好さんと政子さんの長男
おつとりしていますが、
人なつこくてだれにでもな
ります。ほんとにめんこいです。(おばあちゃん談)

**選明るい
啓発用マンガ募集**

内容 最近の選挙において、感じたこと、日ごろから政治、選挙と日常生活との関連性について考えていること、有権者としての心構え、立候補への希望、批判あるいは理想的な選挙、政治の構想図などを内容としたもので一党一派に片寄らないもの。

言葉やキャラクチャーフレーズ等のサブタイトルがついてもよい。

規格 白ケント紙B5判(18.2×25.7cm)以内。
黒1色。ペン、筆使用随意。

締切 9月30日(当日消印有効)
発表 59年12月上旬

賞 優秀5点
佳作100点
入選10点
賞金各 10万円
賞金各 5万円

提出先 東京都千代田区平河町2-4-3 鶴町会館内
財団法人 明るい選挙推進協会
会会長賞状記念品

町のご厚意により、毎月広報を送っていたとき、誠に有難うございます。

日に日に発展を続け、町の新しい歴史が開かれていく姿が、知人友人が活躍しておられる様子が、紙面の随所にうかがわれて、非常に懐しく、嬉しく拝見しております。会員のある方が、広報が届くと、大きな味方を得

今回は、東京東由利会長の、長谷山穂さん(59歳・岩館出身)からお便りをいただきました。

東京東由利会から

**ふるさとへりの
便り**

③

「町」になつて十年、その間の、特に公共施設の充実、道路の整備など、新しい町づくりが急速に進んでいることに目をみはらされます。私も年に一、二度は帰りますが、そのたびに、大きな変わりよう驚いています。ときには、昔の姿が消えてしまっていることをさびしく思うことがあります。

私達の会も、皆さまのご協力により、徐々に大きくなっています。先輩諸兄がふるさと会をつくられてから二十数年、大変、なご苦労のなかでこの会を育ててこられました。お蔭さまで、

京浜地区を第一の故郷として活躍しておられる方々は千人を越すのではないかと思います。急速に進んでいます。私も年に一、二度は帰りますが、そのたびに、大きな変わりよう驚いています。ときには、昔の姿が消えてしまっていることをさびしく思うことがあります。

郷里を離れていましたと、同郷の方々にお会いすること、町の発展の様子にふれることがなにより嬉しいことです。山がある川があつて、濃い緑があつて、そこに豊かな住みよい町を、それは私達のねがいでもあります。

(長谷山さんのお住い▼横浜市鶴見区北寺尾5-9-34)

去る六月の大会には百人以上の参加があり、町長さん、議長さんにもお忙しいなかをご出席賜わり、会を盛りあげていただきました。

今月の「ちびっこ」は、みどり保育園「ひまわり組」からの登場です。

テーマ おおきくなつたらなになりたいの

あれら ちびっこ派

次回は永慶保育園「月組」のちびっこが登場します。



はたけやま まゆこちゃん
(6歳・ちかのさわ)



わたしは どこやさん になつてみ わたしは まをきれいにしてあげるんだ。



こまつ つとむくん
(6歳・いえのした)

さあやか君

西村 宗



材料 茄子でよくつぶしたカボチャ 450グラム、砂糖 2カップ、マーガリン 1/2カップ、小麦粉 3カップ、ベーキングパウダー 小さじ 2、

カボチャのケーキ



佐藤リエさん
蔵新田

ふるさとの味

写真募集

おもしろい、めずらしい、楽しい、嬉しい、などの写真（カラー、白黒、サイズ問わず）をお持ちの方がおりましたら役場総務課までご連絡ください。（69-2110）

3日目は6時に起床して、朝食をとり、テントをかたづけてから全員で運動会をしました。私たちのグループは、リレーで4位、総合でも4位でした。

この大会で町外にたくさんの方たちもできましたし、楽しい思い出もいっぱいできました。参加してほんとうによかったです。

私は8月8日から10日の3日間、田沢湖で行われた秋田県スポーツ少年大会に参加しました。

初めて参加するので不安でしたが、会場に着いたときやさしそうな友達が多勢だったので安心しました。30分位たつてから開講式が始まり、私の前にならんだ男の子から名前を聞かれ「小松多美子です」と言つたら、「いい名前だね」と言われとてもうれしかつたです。

開講式のあとオリエンテーションで、この時にやつたスポーツテストの5分間走では1、300㍍も走りすごくつかれました。このあとみんなで夕食を作つて食べましたがとてもおいしかつたです。



小松多美子さん

ス。ホ少大会に参加して

大琴小6年 小松多美子

夜は、次の日登る「こまがだけ」のふんかのようすのスライドを見てから、テントでねました。

2日目の朝は4時半に起床し、朝食を食べずに出発しました。

「こまがだけ」の頂上は風が強く寒かつたし、まだ残雪があり雪どけ水が冷たくてとってもおいしかつたです。下山してから入った

風呂は、最高でした。

夕食を食べてからキャンプファイヤーをしました。スタンツは練習を少ししかやっていなかつたけれどじょうずにできました。

3日目は6時に起床して、朝食をとり、テントをかたづけてから全員で運動会をしました。私たちのグループは、リレーで4位、総合でも4位でした。

この大会で町外にたくさんの方たちもできましたし、楽しい思い出もいっぱいできました。参加してほんとうによかったです。

長谷山俊子さん
山崎 (23歳)
35・10・14生まれ



やさしさがそよ風に香るような女でした。長谷山松記さん（山崎）の二女で、父母と祖母の4人暮し。現在、東洋縫製（横小路）で事務に携わる俊子さんは、姉に嫁ぐのを先取られ、目下花婿募集中とか……。

いちばん「幸せだなあ」と思うときは……まわりの人が自分を認めてくれたとき。

将来の夢は……すてきなお嬢さんを見つけて幸せになること。でも「結婚」は、あこがれているときがいちばんいいのかも？

つきなみですが、好きな男性のタイプは……相手のことを親身になって考えてくれる男性。私が尽くした分の90%は尽くしてくれるひと。

好きな色は……「紫」好きな言葉は……「道」趣味は……「料理…」と、質問には飾り気のない語り口で応えてくれた俊子さんでした。

- (1) マーガリンに砂糖を加えよう。
- (2) ナモン少々
- (3) カボチャ、ナッツ、エッセンス、シナモンを混ぜる。
- (4) これに小麦粉とベーキングパウダーを加え、全体をさっくりと切るように混ぜる。
- (5) 型に流しオーブンで焼くか、またはフライパンに入れ弱火で時間をかけてゆっくり焼く。

今年は長雨と日照り続きで野菜は期待はずれでしたが、それでも負けずになつたのがカボチヤです。この栄養豊富なカボチヤでぜひ作つてみてください。

町民の声を町政に!

町長の面会日今日は20日

今月の本だな

- ▶新しい天体を見つけよう
- ▶宇宙、星座大図鑑▶太陽母なる恒星の素顔▶弱いものいじめ▶マリーキュリー▶我ら見しままに▶現代の老後学
- ▶わが心のアメリカ▶アフリカの小さな町から▶モーゼスおばさんの絵の世界▶歯無しにならない話▶モーツアルトの生涯▶シェタイナーの教育入門▶二つの同時代史▶愛のごとく▶シルクロード▶ウルトラアイ2▶歴史の群像6
- ▶昭和の歴史2▶日本分県地図59年版▶江戸時代続日本国絵図選要▶ラルース角川名事典▶ラルース世界ことわざ名言辞典

NHK秋田放送局では「第31回NHK青年の主張全国コンクール秋田県大会」の出場者を募集しています。

テーマ
問い合わせください。
参加資格
昭和44年4月1日まで

問い合わせ
10月20日(土)
問い合わせください。

問い合わせ
10月20日(土)
問い合わせください。

「青年の主張」
出場者募集

*

広報にあなたの写っている写真があれば差し上げます

おしゃせ

今月の行事

- 1日・町制施行10周年、合併30年水道拡張整備事業記念式
- 4日・肺の精密検診、婦人科検診
- 4日・県畜産共進会(河辺町)
- 5日・乳児検診、献血車来町
- 6日・婦人科検診、郡P.T.A研修会
- 7日・3歳児検診、ことぶき大学管外研修会
- 8日・妊婦健康相談、稲作農業講演会
- 10日・成人病予防学級
- 11日・婦人科検診
- 12日・3混、全県消防訓練大会、ことぶき大学管外研修会
- 13日・婦人科検診、県敬老式
- 14日・館合栄養改善学級
- 18日・婦人科検診
- 18日~19日・粗大ゴミ収集
- 25日・3か月児クリニック
- 26日・リハビリ学級、農業委員会

秋田県立衛生看護学院では、昭和60年度の入学生を募集しています。募集人数等は次とおり。

年課程45人
・看護科(3年課程30人)
・助産科(15人)
・保健科(50人)

本荘市では11月2日から5日に開催される第32回本荘市由利郡発明工夫展への出品を募集しています。

募集内容は次のとおり。
第1部 発明工夫の部
第2部 特許の部
第3部 廃品利用の部
申し込みは10月20日まで
で町役場企画係へ。

本荘市由利郡発明展
作品募集

*

サラ金についての相談、
問い合わせ窓口
0188(35)0999

*

願書の受付は新年早々に始まります。詳しくは同学院にお問い合わせください。

*

渡辺高橋佐々木智幸建功吉一・長勇向田高橋和夫・二女高芦屋新田

高橋駒藏(71キチエ・夫)須郷
おくやみ

*

(7/21届出・敬称略)

戸籍の窓口

結婚

ふみ子・夫)須郷

木島清子

千葉県台



みんなの力で
豊かな老後!

9月15日は敬老の日、それから1週間は老人福祉週間です

町のミニ統計 8月

7/1
7/31

・人口()内は前月と比較	()内は1月からの累計
・男 3,054人 (4)	・出生 8人 (53)
・女 3,125人 (1)	・死亡 3人 (33)
・計 6,179人 (5)	・結婚 3組 (12)
・世帯数 1,424世帯 (0)	・離婚 2組 (3)
<hr/>	
・ゴミ処理量.....	28t (205)
・火災.....	0件 (0)
・救急車出動回数.....	6件 (60)
・交通事故.....	2件 (6)
・交通事故死亡「0」	継続日数 1,507日
・総合開発センター「有鄰館」利用者数	2,214人 (9,453)
・老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	504人 (3,637)

シルバーマークを販売しています

高齢者の社会参加を促進しようとしている県シルバーミーティングでは、高齢者ドライバーの交通安全マーク(右図)の着用を勧めています。シルバーマークは、2枚1組で500円です。ご希望の方は、町役場交通安全担当まで!

